

阿賀野川河口砂州管理検討委員会 設立趣意書

阿賀野川河口砂州は、平成15年頃までは、左右対称に形成され、開口部が河道の中央部に位置することで、治水面からは、出水時には河口砂州がフラッシュにより流下能力の確保がなされ、冬期風浪時には高波から護岸等の河川管理施設への衝撃を和らげる効果（機能）を有していた。また、利水面からは、濁水時には塩水遡上を抑えて上水の取水障害を防ぐといった効果（機能）を有していた。

しかし、近年、左岸砂州の消失・後退と、右岸砂州の拡大により、河川管理施設の被災や流下能力の低下、船舶の航行障害など、河川管理上大きな課題を抱えているのが現状である。

このような課題に対処するため、河口砂州の動態について検討を行い、河口部周辺の河川管理施設及び、砂州の容易な維持管理を行うことを目的に、有識者等から意見・助言をいただくため、「阿賀野川河口砂州管理検討委員会（仮称）」を設立するものです。